

項目	説明	
試料・情報の利用 目的 及び 利用方法	研究課題名	頭頸部希少がんにおける FDG-PET/CT の有用性に関する研究
	研究対象者	頭頸部希少がんと診断された患者さんのうち、2015 年 1 月から 2023 年 12 月の間に神奈川県立がんセンターで FDG-PET/CT 検査を受けられた方
	研究目的	FDG-PET/CT は悪性腫瘍の診断や予後の予測に有用な検査です。頭頸部希少がん（悪性黒色腫、腺様嚢胞癌など）は稀な疾患であり、FDG-PET 検査の有用性について十分な検討が行われていません。本研究では、頭頸部希少がんにおいて FDG-PET/CT 検査の有効性を検討することを目的としています。
	研究方法	画像診断報告書データベースを利用し、FDG-PET/CT 検査が行われた頭頸部希少がん患者を検索する。FDG-PET の集積を示す各種のパラメータ（「SUVmax 値、MTV、TLG など」）を測定し、生存期間など予後因子との相関について検討を行う。
	個人情報保護	対象となる患者さんの診療情報には個人情報が含まれますが、氏名や住所などの情報を削り、容易に個人を特定できないように研究用の番号（識別コード）で管理します。個人と識別コードを照合できるようにする対応表を作成しますが、パスワードロックや鍵をかけて厳重に保管し、院外へ提供することはありません。
	研究期間	西暦 2024 年 5 月 8 日～西暦 2025 年 3 月 31 日
	利用又は提供を開始する時期	<input checked="" type="checkbox"/> 総長が研究実施を許可した日 <input type="checkbox"/> 西暦 年 月 日頃（研究の進捗によって前後いたします）
利用する試料・情報の項目（チェック[X]が入った項目を利用します）	<input type="checkbox"/> 試料:	<input type="checkbox"/> 血漿、 <input type="checkbox"/> 血清、 <input type="checkbox"/> 全血、 <input type="checkbox"/> 末梢血から抽出した DNA、 <input type="checkbox"/> 病理検体(具体的に記載: _____)、 <input type="checkbox"/> 尿、 <input type="checkbox"/> 糞便、 <input type="checkbox"/> 唾液、 <input type="checkbox"/> 胸水、 <input type="checkbox"/> 腹水、 <input type="checkbox"/> 脳脊髄液、 <input type="checkbox"/> 毛髪、 <input type="checkbox"/> その他(具体的に記載: _____)
	<input checked="" type="checkbox"/> 情報:	<input checked="" type="checkbox"/> 診断名(臨床病期や分類、病理診断を含む)、 <input checked="" type="checkbox"/> 年齢、 <input type="checkbox"/> 生年月日、 <input checked="" type="checkbox"/> 性別、 <input type="checkbox"/> 既往歴、 <input type="checkbox"/> 併存疾患、 <input checked="" type="checkbox"/> 外来日・入院日・退院日、 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査値、 <input checked="" type="checkbox"/> 放射線診断や超音波検査、内視鏡検査等の画像データ、 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床所見・経過（予後追跡データを含む）、 <input type="checkbox"/> ゲノムデータ、 <input type="checkbox"/> 看護記録、 <input type="checkbox"/> その他(具体的に記載: _____)
試料・情報を利用する者の範囲	当センター研究責任者	所属・氏名 放射線診断・IVR 科 日野 彩子
	共同研究機関および責任者	なし
	その他の機関	なし
	外国へ提供する場合	国名と当該外国における個人情報保護に関する制度名または URL
試料・情報の利用停止および情報公開に関する窓口	神奈川県立がんセンター・放射線診断・IVR 科・日野彩子・045-520-2222 利用停止のお申し出は 2024 年 6 月 1 日までをお願いいたします ただし、お申し出いただいた時にすでにデータが固定され、研究成果が論文などで公表されていた場合には、患者さんのデータを廃棄できない場合があります	